



平成 30 年 10 月 26 日

各 位

上場会社名 株式会社三栄コーポレーション 代表者 代表取締役社長 小林敬幸

(コード番号 8119)

問合せ先責任者 財務部長 小平敏之 (TEL 03-3847-3500)

平成31年3月期第2四半期業績予想と実績の差異および通期業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成 30 年 5 月 11 日に公表した業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正について

(1) 平成31年3月期第2四半期(累計)連結業績予想と実績との差異(平成30年4月1日~平成30年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する四半 期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	21,500	100	100	10	4.18
実績値(B)	20,842	29	107	$\triangle 12$	$\triangle 5.26$
増減額(B-A)	$\triangle 657$	△70	7	riangle 22	
増減率(%)	△3.1	△70.6	7.4	_	
(ご参考) 前期第 2 四半期実績 (平成 30 年 3 月期第 2 四半期)	21,771	780	854	487	203.90

(2) 平成31年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成30年4月1日~平成31年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する当期 純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	50,000	1,900	1,900	1,200	502.07
今回修正予想(B)	44,000	850	850	400	170.60
増減額(B-A)	△6,000	△1,050	△1,050	△800	
増減率(%)	$\triangle 12.0$	$\triangle 55.3$	$\triangle 55.3$	△66.7	
(ご参考) 前期実績 (平成 30 年 3 月期)	44,692	1,683	1,832	832	348.47

(3) 平成31年3月期第2四半期(累計)個別業績予想と実績との差異(平成30年4月1日~平成30年9月30日)

	売上高	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	円銭
前回発表予想(A)	11,000	90	50	20.92
実績値(B)	11,117	263	158	66.90
増減額(B-A)	117	173	108	
増減率(%)	1.1	193.1	217.7	
(ご参考) 前期第 2 四半期実績 (平成 30 年 3 月期第 2 四半期)	10,438	567	362	151.54

(4) 平成31年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成30年4月1日~平成31年3月31日)

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	23,000	500	200	83.68
今回修正予想 (B)	23,000	350	$\triangle 20$	△8.53
増減額(B-A)	_	△150	$\triangle 220$	
増減率(%)	_	△30.0	_	
(ご参考) 前期実績 (平成 30 年 3 月期)	22,166	1,221	610	255.45

2. 修正の理由

(1) 第2四半期(累計)期間連結業績予想ならびに個別業績予想の実績との差異理由

連結業績では、ブランド事業において期初予想を下回る売り上げとなった販売子会社や先行投資が嵩んだ販売子会社があったことを主因に、営業利益が予想を下回りました。また、経常利益はほぼ予想どおりとなりましたが、法人税等が期初見込み額を上回ったことから親会社株主に帰属する四半期純利益は予想を下回りました。

個別業績では、OEM事業の売り上げが増加したことや一般管理費の削減などにより経常利益および四半期純利益が予想を上回りました。

(2) 通期連結業績予想ならびに個別業績予想の修正理由

連結業績では、第3四半期以降もブランド事業において利益率の高い販売子会社の売り上げが期初予想を下回る見通しから、売上高および各利益の前回予想値を引き下げました。

個別業績では、第 2 四半期(累計)期間までのブランド事業の厳しい業績を踏まえ、子会社からの配当金の減少などを想定し経常利益および当期純利益の前回予想値を引き下げました。

(注)上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、様々な要因により実際の業績は異なる結果となることがあります。